



# 第5回 RDD2023



## 写真コンテスト

RDD: Rare Disease Day  
(世界希少・難治性疾患の日)  
とは

RDDは、より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さん/ご家族の生活の質 (QOL) の向上を目指して、ヨーロッパで2008年から始まった活動です。毎年2月末を軸に、現在は約100カ国で開催されています。日本では2010年の東京を皮切りにして、毎年活動を少しずつ拡大しています。RDD2022は全国54箇所で公認開催されました。

応募テーマ：  
“つたえる、  
ひろがる、  
つたわる”

詳細は  
こちらから →



応募期間 2022年11月20日から2023年1月15日

作品は、2023年2月18日 (土) から3月21日 (火) まで、  
東京タワー2F FOOT TOWN (RDD Japan会場) に展示されます  
(審査員賞は単体で、その他の作品はまとめて展示します。)

### 応募資格

希少・難治性疾患領域 (難病) に関係がある方なら、患者さん・ご家族・友人・医療関係者・研究者などどなたでも応募できます。

### 作品について

- ・被写体は、必ずしも患者・家族である必要はありません。風景の写真も応募可能です。
- ・被写体はデジカメ・スマホで撮影しており、撮影したテーマに沿った作品が対象となります。
- ・作品はひとり1点で、色調やコントラストの調整、トリミングなどを施した作成も可能です。

### 審査員 (50音順/敬称略)

荒牧英治氏 (奈良先端科学技術大学院大学)  
中山優季氏 (東京都医学総合研究所)  
本田睦子氏 (難病のこども支援全国ネットワーク)  
Hiraku氏 (中村キース・ヘリング美術館)

武藤香織氏 (東京大学医科学研究所)  
森和彦氏 (日本製薬工業協会)  
山口啓介氏 (美術家)  
和田芽衣氏 (写真家)



RDD日本開催事務局 [rdd@asrid.org](mailto:rdd@asrid.org) (お問い合わせはメールでお願いします)